

2 個別事業評価調書

団体名 :与謝野町

事業名	ボランティアコーディネーター設置事業					
事業の概要	高齢化社会の進展とともに福祉サービスの充実の要望が高まっている。このニーズに応えるためにはボランティアの育成と組織化が不可欠であり、社会福祉協議会に専門職員を設置するものである。					
	目標時期	平成17年度				
	総事業費	2,279	本年度事業費	2,279	交付金交付額	1,139
事業の必要性	当町では、高齢化が進み居住地が分散している地区も多く、そうした地区では各地域における介護等のボランティアの活動は不可欠となっている。					
事業の有効性	社会福祉協議会がボランティア活動を充実させ、また、ボランティアの育成に努めることで、高齢化社会に対応したまちづくりが可能となる。					
事業の効率性						
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
	2 住民の自治意識を高める成果					
	3 リーディング・モデル成果					
	4 広域的波及成果					
	5 行財政改革に資する成果 学校行事、社会福祉施設での行事等へのボランティアの派遣を実施し、各事業における人的削減を図ることができた。					
	6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。